

\* 4M5E分析モデル

1) 4 M5E分析とは何か～その意味と概要			
4 M5Eの「4 M」とは、発生した事象の要因を把握するための視点			
MAN	MACHINE	MEDIA	MANAGEMENT
• 人間・仲間・上司	• 機器・設備	• 情報・環境	• 管理・教育
• 心理的な要因	• 設備の不具合	• 情報に関連の要因	• 組織的な管理要因
• 技術的な要因など	• 機器の誤作動など	• 環境的な要因など	• 教育的な要因など

### 1) 4 M5E 分析とは何か～その意味と概要

4 M5E 分析とはフレームワーク型の分析手法で、インシデントやアクシデントの要因を4つの「M」の視点から分析して、さらに対策を5つの「E」の視点で行う手法です。

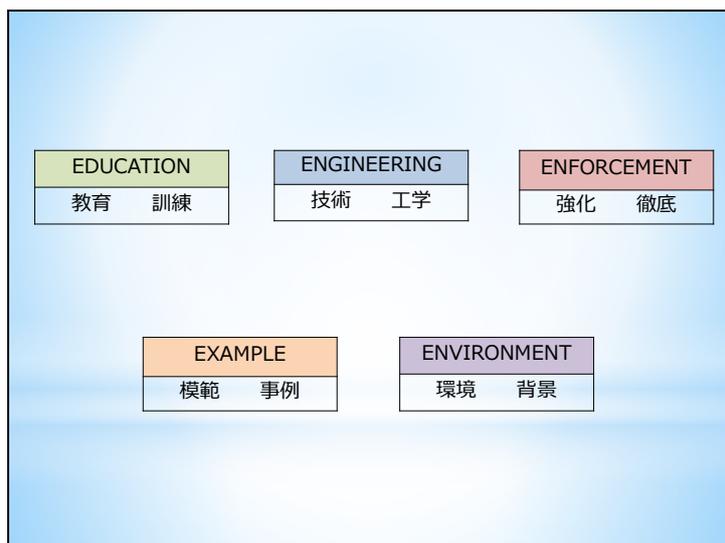
インシデントやアクシデントが発生した場合、4 M5E 分析では下図の4つの「M」の視点から分析していきます。

4 M5E の「4 M」とは、発生した事象の要因を把握するための視点



4 M の視点からインシデントやアクシデントの分析を行うことで、より多角的に事象を見ることができ、なおかつ状況を部分的ではなく全体的な視点で分析を行うことができます。

4 M の視点で要因の分析ができれば、次に 5E の視点で対策を実施していきます。5E の詳細は以下ようになります。



4M5Eの「5E」の視点で対策を実施する。

EDUCATION	教育 訓練	業務を安全に実施するための教育や訓練によって対策する 知識・意識・技術の教育・訓練
ENGINEERING	技術 工学	安全性を向上させるための機器や設備の対策をする
ENFORCEMENT	強化 徹底	業務の確実な実施を強化・徹底する 標準化・マニュアル化の強化や徹底・KYTトレーニング
EXAMPLE	模範 事例	業務の模範を示し具体的な事例を提示する 成功事例や模範的行動を示し周知する
ENVIRONMENT	環境 背景	物理的な作業環境を改善する 作業場の照度や温度、整理整頓、5S活動

4M で明らかになった要因・原因に対して、5E の各項目にしたがって対策を立案し具体的な方策を立てていきます。

具体的な 4M5E 分析の方法と進め方について次に解説していきます。